

945

H364.3

471

どんな時どう使う日本語表現文型500


# 日語句型 地道表达

中・上級



友松悦子・宮本 淳・和栗雅子

 大连理工大学出版社

 アルク

本书日文版由日本 ALC PRESS 以书名《どんな時どう使う日本語表現文型 500(中·上級)》出版,中文简体版由 ALC PRESS 授权大连理工大学出版社以书名《日语句型地道表达 500 例(中·上級)》在中华人民共和国内出版发行。

版权所有,翻印必究

[辽宁省版权合同登记 06-2001 年第 228 号]

### 图书在版编目(CIP)数据

日语句型地道表达 500 例(中·上級)/(日)友松悦子,宫本淳,和栗雅子著.——大连:大连理工大学出版社,2002.6

ISBN7-5611-1989-5

I. 日… II. ①友… ②宫… ③和… III. ①日语-句型-水平考试-学习参考资料  
IV. H364.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 010545 号

大连理工大学出版社出版发行  
大连市凌水河 邮政编码 116024  
电话:0411-4708842 传真:0411-4701466  
E-mail: dudp@mail. dlptt. ln. cn  
URL: http:// www. dudp. com. cn  
大连理工印刷有限公司印刷

---

开本:787 毫米×1092 毫米 1/16 字数:335 千字 印张:14.625  
印数:1—10000 册  
2002 年 6 月第 1 版 2002 年 6 月第 1 次印刷

---

责任编辑:宋锦绣

责任校对:萧音

封面设计:王福刚

---

定价:20.00 元

# 目次 CONTENTS

はじめに……3

ほんしょ もくてき  
本書の目的……6

本書をお使いになる方々へ……6

1 本書の特色と方針

2 各課の構成

本書を使って学習する方々へ……9

せつぞく かつら  
接続の形について……11

きごう  
記号について……13

1 どうき たいしやう  
動作の対象 ～について/～に対して……15  
Objects of Action

2 もくてき しゅだん ばいかい  
目的・手段・媒介 ～ように/～によって……20  
Purpose/Means and Media

I 目的 II 手段・媒介

3 きてん しゅうてん げんかい はんい  
起点・終点・限界・範囲 ～をはじめ/～にわたって……28  
Starting and Ending Points/Limits/Range

4 じてん ばめん  
時点・場面 ～に際して/～において……35  
Time and Place of an Action

5 じかんてきどうじせい じかんてきぜんごかんけい  
時間的同时性・時間的前後関係 ～たとたん/～ないうちに……41  
Concurrent Actions/Sequential Actions

I 時間的同时性 II 時間的前後関係

6 しんこう そうかんかんけい いっぽう  
進行・相関関係 ～一方だ/～につれて……49  
Progressive Actions/Correlations

I 進行 II 相関関係

7 ふたい ひふたい  
付帯・非付帯 ～ついでに/～めきで……55

16 強調 きょうこう ～さえ／～こそ……115

Emphatic Expressions

I 強調 その1 II 強調 その2

17 話題 わだい ～というのは……123

Topics

18 逆接・譲歩 ぎゃくせつ じやうほ ～ながら／～とはいうものの……129

Contradiction/Concession

19 原因・理由 げんいん りゆう ～によって／～ばかりに／～からには……137

Causes and Reasons

I 原因・理由 その1 II 原因・理由 その2 III 原因・理由 その3

20 仮定条件・確定条件 かていじょうけん かくていじょうけん ～としたら／～とあれば……149

Hypothetical Conditions/Definite Conditions

21 逆接仮定条件 ぎゃくせつ かていじょうけん ～たところで……155

Negative Hypothetical Conditions

22 不可能・可能・困難・容易 ふかのう かのう こんなん ようい ～ようがない／～得る……160

Impossibility/Possibility/Difficulty/Easiness

23 傾向・状態・様子 けいこう じやうたい ようす ～がちの／～だらけ／～げ……166

948

H364.3

√71

どんな時どう使う日本語表現文型500

# 日语句型 地道表达


中・上級




友松悦子・宮本 淳・和栗雅子



A1026987

 大连理工大学出版社

 アルク

试读结束，需要全本请在线购买：[www.ertongbook.com](http://www.ertongbook.com)

本书日文版由日本 ALC PRESS 以书名《どんな時どう使う日本語表現文型 500(中·上級)》出版,中文简体版由 ALC PRESS 授权大连理工大学出版社以书名《日语句型地道表达 500 例(中·上级)》在中华人民共和国内出版发行。

版权所有,翻印必究

[辽宁省版权合同登记 06-2001 年第 228 号]

### 图书在版编目(CIP)数据

日语句型地道表达 500 例(中·上级)/(日)友松悦子,宫本淳,和栗雅子著. —大连:大连理工大学出版社,2002.6

ISBN7-5611-1989-5

I. 日… II. ①友… ②宫… ③和… III. ①日语-句型-水平考试-学习参考资料  
IV. H364.3

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2002)第 010545 号

大连理工大学出版社出版发行  
大连市凌水河 邮政编码 116024  
电话:0411-4708842 传真:0411-4701466  
E-mail: dudp@mail. dlptt. ln. cn  
URL: http:// www. dudp. com. cn  
大连理工印刷有限公司印刷

---

开本:787 毫米×1092 毫米 1/16 字数:335 千字 印张:14.625  
印数:1—10000 册

2002 年 6 月第 1 版 2002 年 6 月第 1 次印刷

---

责任编辑:宋锦绣

责任校对:萧音

封面设计:王福刚

---

定价:20.00 元

.....

## はじめに

最近、中・上級レベルの教材は教科書以外のものについてもよいものが次々と出版されるようになりました。特に問題集は日本語能力試験を目指す学習者が効率よく学べるように工夫されたものが数多く出版され、目をみはるものがあります。

ところで、初級を終えて中級に入った学習者は論理的な文章を読んだり、書いたり、微妙な気持ちや感動を表現したりする時に使われる、より高度な日本語を習得したいと願います。そのような学習者から次のような声が聞かれるのも事実です。本や新聞などを読んでいて新しい言葉が出てくるが、文法的な言葉は辞書で引こうとしても、辞書には出ていない、いい参考書はあるが、言葉の数が少ない、などです。また、大学や専門学校のための日本語予備教育課程で学びつつ、日本語能力試験の準備をしている学習者からも、問題集や直前対策などの教材だけではなく、中・上級で学ぶ文型の全体を見通しつつ、計画的に落ち着いて学習できる教材がほしい……という希望が聞かれます。

また、中・上級レベルを教える先生方からも、次のような声がありました。中・上級で数多く出てくる文法的な機能語を、学習者に効率よく体系的に復習させることができる教材がないか、学校の教科書で勉強したものを学習者が自分で復習したり、または学校のクラスでは十分にわからなかったところを後で補ったりすることもできる教材がないか、などです。

このような中・上級の学習者の要望に応えたく、私どもはこの『どんな時どう使う日本語表現文型500』をまとめました。これは、私どもが現場で得た経験を生かし、学習者のお役に立つよう、長年使用してきた自作教材をもとにまとめたものです。

この教材の編集段階で、国立国語研究所の佐々木倫子先生には非常に有益なご助言とお励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。また、株式会社アルクの平本照麿社長をはじめ、日本語出版編集部の塩崎宏編集長、水野照子副編集長には、一方ならぬお世話になりました。改めて感謝申し上げます。

この学習書が日本語を学ぼうとしている方々のお役に立つことを心から願っております。しかし、至らない点もあるかと思えます。お気付きの点について、お使いになった方々からのご批判をいただければ幸いです。

1996年9月  
友松悦子  
宮本 淳  
和栗雅子

# 目次 CONTENTS

はじめに……3

ほんしょ もくてき  
本書の目的……6

本書をお使いになる方々へ……6

1 本書の特色と方針

2 各課の構成

本書を使って学習する方々へ……9

せつぞく かつり  
接続の形について……11

きごう  
記号について……13

1 動作の対象 ～について/～に対して……15  
Objects of Action

2 目的・手段・媒介 ～ように/～によって……20  
Purpose/Means and Media

I 目的 II 手段・媒介

3 起点・終点・限界・範囲 ～をはじめ/～にわたって……28  
Starting and Ending Points/Limits/Range

4 時点・場面 ～に際して/～において……35  
Time and Place of an Action

5 時間的同时性・時間的前後関係 ～たとたん/～ないうちに……41  
Concurrent Actions/Sequential Actions

I 時間的同时性 II 時間的前後関係

6 進行・相関関係 ～一方だ/～につれて……49  
Progressive Actions/Correlations

I 進行 II 相関関係

7 付帯・非付帯 ～ついてに/～ぬきで……55  
With/Without

8 限定 ～に限り……62  
Limiting Conditions

9 非限定・付加 ～ばかりでなく/～に加えて……67  
Non-limitation/Additions

I 非限定 II 付加

10 比較・最上級・対比 ～に比べて/～どころか……76  
Comparison/Contrast

I 比較・最上級 II 対比

11 判断の立場・評価の視点 ～にとつて/～にしては……85  
Standpoint of Judgment/Viewpoint of Evaluation

I 判断の立場 II 評価の視点

12 基準 ～に基づいて……93  
Basis of Action

13 関連・対応 ～に応じて/～をきっかけに……99  
Dependency/Correspondence

14 無関係・無視・例外 ～を問わず/～はともかく……105  
Unrelated Conditions/Exceptions

15 例示 ～とか～とか……110  
Giving Examples



16 強調 <sup>きょうきょう</sup> ～さえ／～こそ……115

Emphatic Expressions

I 強調 その1 II 強調 その2

17 話題 <sup>わだい</sup> ～というのは……123

Topics

18 逆接・譲歩 <sup>ぎゃくせつ じやうほ</sup> ～ながら／～とはいうものの……129

Contradiction/Concession

19 原因・理由 <sup>げんいん りゆう</sup> ～によって／～ばかりに／～からには……137

Causes and Reasons

I 原因・理由 その1 II 原因・理由 その2 III 原因・理由 その3

20 仮定条件・確定条件 <sup>かていじようけん かくていじようけん</sup> ～としたら／～とあれば……149

Hypothetical Conditions/Definite Conditions

21 逆接仮定条件 <sup>ぎゃくせつ かていじようけん</sup> ～たところで……155

Negative Hypothetical Conditions

22 不可能・可能・困難・容易 <sup>ふかのう かのう こんなん ようい</sup> ～ようがない／～得る……160

Impossibility/Possibility/Difficulty/Easiness

23 傾向・状態・様子 <sup>けいこう じやうたい ようす</sup> ～がちの／～だらけ／～げ……166

Tendency/State/Condition/Look

I 傾向・状態 II 様子

24 経過・結末 <sup>けいか けつまつ</sup> ～あげく／～に至る……175

Process/Conclusion

I 経過 II 結末

25 否定・部分否定 <sup>ひてい ぶぶん ひてい</sup> ～はずがない／～わけではない……185

Negatives/Partial Negatives

I 否定 II 部分否定

26 伝聞・推量 <sup>でんぶん すいりよう</sup> ～ということだ／～かねない……192

Conveying Information/Expressing Certainty and Uncertainty

I 伝聞 II 推量

27 心情の強調・強制 <sup>しんじよう きやうきやう きやうせい</sup> ～てたまらない／～ざるをえない……198

Emphasizing Feelings/Compulsion

I 心情の強調 II 強制

28 誘い・勧め・注意・禁止 <sup>さそい すそ ちゆうい きんし</sup> ～こと／～ものだ／～べきではない……206

Invitations/Advice/Warnings/Prohibitions

29 主張・断定 <sup>しゅちやう だんてい</sup> ～にほかならない／～にきまっている……211

Assertion/Decision/Judgment

30 感嘆・願望 <sup>かんたん がんぼう</sup> ～ことに／～たいものだ……217

Exclamatory Expressions/Expressing Wishes

索引 <sup>さくいん</sup> ……223

練習問題の解答 <sup>れんしゅう かいとう</sup> ……231

参考文献 <sup>さんこうぶんけん</sup> ……233

.....

## 本書の目的

初級文法の学習項目を終えた学習者は、論理的な文章を読んだり書いたり、微妙な気持ちや感動をうまく表現したりする時に使われる、より高度な日本語の言い方を学習したいと願う。

この学習書は、そうした中・上級の表現文型を体系的に学びたいと思っている学習者のために作られたものである。それぞれに微妙な特徴をもつ表現文型や文法的機能語（以下、機能語と言う）を学び、運用する力をつけたいと思ってこつこつと勉強している方々にはお役に立つものと信じている。

この学習書が使われる場としては、例えば、教科書に沿って中級以上の語彙や文法を積み上げつつ勉強する日本語学校で、中級の学習がある程度進んでから、中級文法のまとめのための副教材として使うということが考えられる。また、12月の日本語能力試験を目指して勉強している学生の大勢いる日本語学校で、その対策のための授業で使用するのも一案である。学習者が自習用、独習用の教材として使用することもできるであろう。

.....

## 本書をお使いになる方々へ

### 1 本書の特色と方針

[意味による分類]

本書は、国際交流基金・日本国際教育協会から発表された日本語能力試験（文法）の出題基準サンプル（文法的な〈機能語〉の類）を参考にして書かれた。当リストにあるもの（2級・1級）は全部を網羅した。その外に、数種類の教科書（参考文献参照）にあたり、その中で重要文型として取り上げられているものや、リストにはないが過去10年間に出版されたものをつけ加えた。以上のものに派生した形も加えて、500余項目となった。

学習者が文型をまとめて勉強しようとする時、さまざまな文型が脈絡なく次々として出てくるよりは、何かのまとまりをもって体系的に提出されている方が学習の助けになると考え、上記の機能語を意味によって分類して一つの課を構成した。各課の題はその課の項目の代表的な機能を考えてつけたが、その用語（例：7付帯・非付帯 など）については、ご批判を仰ぎたい。

機能語の意味・機能は一つではない。例えば「～ながら」は、初級の学習項目である同時進行と中級の学習項目である逆接の二つの意味・機能をもつ。しかし、この二つの意味は独立して存在しているのではなく、連続的にその意味をカバーしている。

また、「～にきまっている」は、確信に近い推量を表す文型であるとも、断定的発言

を表す文型とも考えられる。「～はずはない」は推量と分類した方がいいのか、否定と分類した方がいいのか、どこで線を引いて分類するのかはきわめて難しい問題である。しかし、執筆者らの立場としては、あくまでも学習者が学習する際に取っ付きやすく、わかりやすいようにということを第一に考え、あえて分類を試みた。そのため、学習者の混乱を招かないように配慮し、それぞれの典型的な例を出して分類するという方法を取った。一つの機能語が複数の意味・機能をもつ場合は、それぞれのグループに収めた。例えば、「～によって」は、次の4つの課に収めた。

・話し合いによって <u>解決する</u> 。	手段	2課II・1
・この会はある団体によって <u>運営</u> されている。	受身文の動作主	2課II・2
・地方によって <u>習慣</u> が違う。	関連	13課1
・今回の地震によって <u>倒壊</u> した家の数は……	原因	19課I・1

#### [文法的性格についての記述]

機能語を学習する上で必要なことは、まず、意味と機能を理解することである。さらに、自分で使えるようになるためには、それを使う場面、接続のしかた、使われる動詞の種類などについての知識を持ち、接続する言葉の制限や文末の制限などについての文法的な性格についても知る必要がある。機能語の文法的な性格については、日本語教育の先輩方の研究により、非常に詳しい報告がされているものもあるが、まだ触れられていないものもある。また、優れた研究が発表されているものであっても、残念ながら日本語教育の現場、特に学習者の手にはまだ情報があまり届いていないのが現状であろう。




執筆者らは長年予備教育に携わっている者として、それぞれの現場の経験から、学習者のわかりにくいところ、間違いやすいところを押さえて、できるだけ簡単明瞭に文法的性格を解説しようと試みた。文型や機能語を正しく把握することは、読解力をつけるためにも大切なことであるから、文型や機能語についての知識を深めることにより、理論的な文章を理解したり、感情のこもった文などを読んだりする力を伸ばせるものと信じる。






#### [例文]

各機能語について3～5つの例文を載せた。その文型の典型的な例をまず紹介し、外に、接続する品詞、時制、使われる場面、話題などが偏らないように、可能なかぎり様々なものを提示できるよう試みた。ただし、いわゆる複合助詞（助詞に相当する連語）の場合、本来の動詞の意味が強く残っているものはあまり取り上げていない。（例：線路に沿って道が続いている。）

各例文は基本的に普通体の書き言葉のものを主としたが、当然ながら書き言葉には丁寧体のものもあるので、手紙、ニュース報道、スピーチ、会議の報告などに使われるも

のも丁寧体の書き言葉として取り入れてある。さらに、会話の中の発話の文は、聞いている相手がいることを示すために「」の中に入れた。学習者の負担にならないように、必要最低限の場面設定だけを施した簡潔な例文を目指した。

[  コーナー（各課の1ページ目）と  練習問題（各課の最後のページ）]

少しでも執筆者と学習者とのインターアクションがあればと思い、また、自分の知識の弱点を自分でモニターする学習ストラテジーをもつことが望ましいと考えて、各課に入る前にその課で学ぶべきことをどの程度知っているかを試してみる「  コーナー」を設けた。その課にまとめられた意味・機能を持つ文型をどのくらい知っているか、知っているだけでなく適切に使えるかを試す性質のものである。問題は2級のものだけにおさえ、その機能語の定番ともいべき例を提示して問題が作ってある。 はそれらの語を知っているかどうかのチェックであり、 は適切な使い方ができるかのチェックである。このコーナーでつまづいた場合は、本文の●や  のところをよく読んでほしい。



さらに、その課で学習したことの確認のために、本文の終わりに練習問題をつけた。その課で学んだ機能語が適当な部分に使えるか、その機能語を使って短文完成ができるか、文法的な性質についての知識が身についたか、あるまとまりのある文章（談話）の中でその機能語が使えるかなどを確認するためのものである。

[その他 使用語彙と漢字など]

文法の力を養うための学習書であるから、語彙はなるべく学習者の負担にならないよう、例文はそれぞれの出題基準の範囲内の語彙を使用するようにした。つまり、2級の機能語の例文については2級の出題基準の範囲内の語彙を、1級のは1級のものも使用した。しかし、説明部分については、語彙を制限をすることによってかえってわかりにくくなるということもあり、必ずしもこの原則どおりにいかないこともあった。


漢字の提出については、漢字圏の学習者が本書の内容を容易に理解できるようにするため、また、非漢字圏の学習者にはなるべく漢字に慣れる機会を提供する意味もあり、2級の出題基準以上の語彙と漢字にはよみがなをつけて使った。




## 2 各課の構成

- ・   コーナー その課にまとめられた文型について、どの程度の基礎知識があるかを問うもの。(答は次のページの下)
- ・ 機能語一覧 その課で学習する機能語一覧。級別に提示。学習しやすいと思われる順に提示した。
- ・ 本文 見出し語  
その言い換え……………【】

意味的な特徴……………●

例文……………①②③～

文法的性格と注意点……………

使われる場面について……………  

共起する言葉 他例

参考例 接続のしかた 他の参照文型など。

- ・練習問題 その課で学習したことをチェックするためのもの。問題の種類はいろいろで、談話単位の中でどう使われるかという点を確認する問題も取り入れた。(答は巻末)






……………

## 本書を使って学習する方々へ



### 〈1課から30課〉

本書は1課から30課まであります。後半の課になると、話す人の気持ちや態度が含まれる文型が多くなってきます。1課から順番に進んでいくのもいいし、順番どおりでなくてもいいと思います。学校の授業で勉強したことを、家でもう一度練習しておきたいと思った時に、その文型と同じグループに入る外の文型をついでに学習してしまうという方法もあります。

### 〈 のコーナー〉

どの場合でも、まず「うでだめし」をやってみましょう。これは、その課で学ぶことの基礎的な知識がどの程度まで進んでいるかを自分でチェックするコーナーです。問題は2級のものだけです。は「～と言いたい時」のいろいろな文型をどのくらい知っているかを問うものです。一番いい言葉を選んで\_\_\_\_\_の上に入れてください。一つの話は1回しか使いません(14課を除く)。次にに進んでください。これは適切な使い方ができるかどうかを問うものです。使い方の適切な文の方に○をつけてください。中級以上の文型は、接続する言葉や文の終わり方などに様々な制限があります。接続のしかたも文型によっていろいろです。そうした制限を守らないと適切な使い方ができません。この問題を間違えた人は、本文の●やを注意して読んでください。どの課の のコーナーも10問あります。10問中、4問以上間違いのある人はその課を特にいねいに学習しましょう。

### 〈本文〉

まずその課で学習する文型にはどんなものがあるかを見てみましょう。は2級、は1級のもので、項目は学習しやすい順に並んでいますから、順を追ってその課の本文を読み進んでいくことをおすすめします。

まず、【 】を読んでください。やさしい言葉で言い換えた場合の「意味」が書いて

あります。それを頭の中に入れてうえで、●を読みます。さらに詳しい意味が、つまり、どう言いたい時に使うのかが書いてあります。次に例文を読んで、実際の文の中での使い方を確認してください。例文を読む時は、どんな性質の言葉、どんな品詞に接続しているか、文の終わり方はどうなっているかなどにも注意しながら読んでください。

☞はその文型の文法的な性質について書いてあります。その文型を使って自分で文を作る時の注意点です。☞の中の悪い文(×がついた文)はどのようにして悪いのかをまず考えてみてください。その後で注意事項を読んでください。正しい文の作り方と正しい文(○の文)が書いてあります。

### 練習問題

次に練習問題に進んでください。これはその課で学習したことを理解できたかどうかをチェックするためのものです。あるまとまりをもった少し長い文章の中で習った文型をどう使うかを練習する問題もあります。手紙、作文、論文などを書く時の参考にしてください。

### 50音順別索引





ある言葉について知りたいと思った時は、50音順の索引を引いてください。習った言葉の意味や使い方を自分でもう一度確かめたいと思った時にも、索引を大いに利用してください。他と混同しやすいものや、複数の使い方があってわかりにくいものは、短い例文が書いてありますから、引く時に参考にしてください。

## How to Use This Book

### <Lesson Order>

This book is made up of 30 lessons, and sentence patterns that express the speakers' feelings and attitudes are given in increasing amount as the book progresses. You can start with Lesson 1 and work your way through each lesson in numerical order, or you can study the lessons in any order you like. Also, when you want to further review the sentence patterns you learned in class at home, you can go ahead and study similar sentence patterns of the same group.

### <Skill Check Corner>

No matter which order you use when studying this book's lessons, you should start off each lesson with a test of your ability. The Skill Check Corner of each lesson has been designed to allow you to check your mastery of the fundamental knowledge presented in that lesson, and only level 2 problems are given. The part marked with  tests how many of the various situational expressions you have acquired. Except for in Lesson 14, answer choices are used only one time each. Next, go to the part marked with , which tests your ability to use the sentence patterns correctly. There are various restrictions which apply to clause connections and sentence endings when you work with intermediate and advanced sentence patterns, and the method of connecting clauses often differs depending on the type of sentence pattern being used. If such rules are not followed, then it will not be possible to use the sentence patterns properly. If you incorrectly respond to the test problems, carefully go over the parts marked with ● and ☞ in the main text. The   section

of each lesson has a total of ten problems; if you incorrectly respond to four or more of the problems for a particular lesson, then be sure to give special attention to the contents of that lesson.

#### <Main Text>

First take a look at what sort of sentence patterns are studied in the lesson. Sentence patterns marked with 2 are level 2, and those marked with 1 are level 1. It is recommended that you go through the main text of a lesson in its established order.

Start your study by reading the part marked with 【 】, which gives the meaning of the expression in easy-to-understand terms. While keeping the meaning in mind, read the part marked with ●, which explains the usage of the expression. Next, read the example sentences to get a clear idea of how the expression is actually used. When reading the examples, pay attention to what connecting parts of speech are used with what expressions, and to how the sentences are ended. The part marked with ☞ explains the grammatical characteristics of the sentence pattern, and provides you with advice on how to employ it in your own constructions. Also, try to figure out what's wrong with the incorrect sentences (marked with ×) in ☞, and then read the special pointers, which give you information on how to correctly form sentences, and the examples of correct sentences (marked with ○).

#### <Practice Problems>

Next, try the practice problems, which test whether you have correctly understood the contents of the lesson. Included in this section are problems that allow you to practice using the newly learned sentence patterns in the context of a short discourse. You can use this section as a reference when you write letters, compositions, or essays.

#### <Index>

When you want to find out information on a particular word, or want to make sure of the meaning or usage of a vocabulary word that you've already learned, you can look it up with the index (arranged in *a-i-u-e-o* order). The index also includes helpful example sentences for better understanding words which are easily confused with other words, or are difficult to understand because they have several usages.



.....

## 使用方法

### <课程组成>

本书由1至30课组成。从后半部分起,包含说话人的心情和态度的句型逐渐增多。既可从第1课开始按顺序进行学习,也可不按课序学习。如果想在家较深入复习在学校所学内容,不妨也注重学习一下同组的相近句型。

### <技能测试栏>

不论按何种顺序学习本书课程,首先都有对该课基础知识的掌握程度进行自测的必要。问题只涉及2级,标有  的部分是测试对多种句型的了解程度。请选择你认为恰当的词填入\_\_\_\_上,每一词语均为单选(14课除外)。接下来是 ,其目的为检验正确使用句型的能力。在使用方法正确的句上画○。中级以上的句型,在接续词和句的结尾方

式上有许多限制规则。接续方式因句型而异，如不能遵照其中的规则，便难以正确使用。出现错误时请留意阅读●和☞。每一课的🗨️🗨️栏都有10个问题。在10个问题中做错4个以上的话，应有针对性的学习该课。

### <正文>

首先了解一下该课有哪些句型需要掌握，标有🗨️的属2级句型，标有🗨️的属1级句型。由于每项是按难易程度排序的，故建议按顺序进行阅读。

先阅读【】的内容，其中都是用简单易懂的词语表述相同的意思。将以上内容记下后，再读更详细说明其用法的●。在读例句时，要同时注意所接续的为哪种性质的词语、词性以及结尾方式等。☞是从该句的语法性质角度而言的，为自行造句时的侧重注意点。同时请对☞中的错句(画×的句子)的错误原因进行分析之后，阅读包括正确造句方法和例句(画○的句子)的注意事项。

### <练习>

接下来进行练习，其目的是对该课所学内容的理解程度进行测试。这个单元里的问题是通过上下文来完成新学习的句型，同时也可作为读者在写信、作文、论文时提供参考。

### <50音序索引>

当要查找某个词时，可按50音图顺序进行查找，如果要确认所学词的意思和用法时也可以通过索引。索引还具有有助于理解易混淆或同时具有几个用法的词的作用。

.....

## 🗨️🗨️ 接続の形について

接続のしかたは次のような用語で記した。

### • 品詞の種類

動詞 (動詞 I <例: 書く> 動詞 II <例: 見る、食べる> 動詞 III <例: する、来る>)

い形容詞 ない形容詞 名詞 する動詞の名詞 <例: 見学> 助詞

### • 動詞の活用の形

(ない)形 <例: 書か> ~ない形 (ます)形 <例: 書き> 辞書形 ~ば形

~ている形 ~た形 ~たら形

### • その他

い形容詞の辞書形 <例: 大きい> い形容詞の語幹 <例: 大き> な形容詞の語幹 <例: 元気>



せつぞく かた  
[接続の型]

れんたいしゅうしよくがた  
・連体修飾型

どうし 動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+こと
けいようし い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気な (元気である)	元気ではない	元気だった (元気であった)	元気ではなかった	
めいし 名詞	病気の (病気である)	病気ではない	病気だった (病気であった)	病気ではなかった	

ふつうけいがた  
・普通形型

動詞	書く	書かない	書いた	書かなかった	+からこそ
い形容詞	大きい	大きくない	大きかった	大きくなかった	
な形容詞	元気が	元気ではない	元気がだった	元気ではなかった	
名詞	病気が	病気ではない	病気がだった	病気ではなかった	

・普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」)

動詞・い形容詞は上と同じ					+のみならず
な形容詞	元気である	元気ではない	元気があった (元気がだった)	元気ではなかった	
名詞	病気である	病気ではない	病気があった (病気がだった)	病気ではなかった	

例 名詞/普通形型 (な形容詞と名詞は「である型」。ただし「である」がない場合もある) +にもかかわらず/にしては

- ・雨にもかかわらず、大勢の人が来た。(名詞)
- ・約束したにもかかわらず、彼は来なかった。(動詞普通形型)
- ・天気がよかったにもかかわらず、参加した人は少なかった。(い形容詞普通形型)
- ・彼は体が健康であるにもかかわらず、働こうとしない。(な形容詞普通形「である型」)
- ・彼は歌がへたにしては、人前でよく歌いたがる。(な形容詞普通形「である型」の「である」がない場合)
- ・これはデザインが最新型であるにしては性能の悪い機械だ。(名詞の普通形「である型」)
- ・彼は力士にしては体が小さい。(名詞の普通形型「である型」の「である」がない場合)